

# 木戸台遺跡のこれまでの発掘調査成果

(1) 地点は、平成 29 年度末及び平成 30 年 11 月～平成 31 年 3 月に 850㎡を対象に調査が行われ、縄文時代の竪穴住居跡 3 軒、土坑 48 基などが見つかりました。縄文時代中期の「有段式竪穴住居跡」からは、装身具と思われる鹿角製品が出土しました。

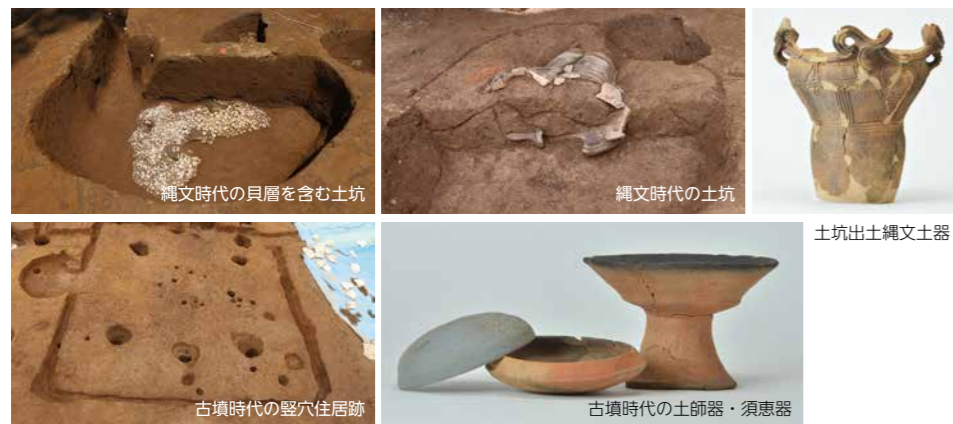


(2) 地点は、令和元年 10 月～令和 2 年 3 月及び令和 2 年 4 月～5 月に 1,628㎡を対象に調査が行われ、縄文時代の竪穴住居跡 12 軒・土坑 117 基、古墳時代竪穴住居跡 26 軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡 4 軒などが見つかりました。縄文時代の軟玉製垂飾品や古墳時代後期の滑石製模造品、小形勾玉などが出土しています。



(4) 地点は、令和 2 年 5 月～11 月に谷斜面部 531 ㎡を対象に調査が行われ、縄文時代の竪穴住居跡 10 軒・土坑 172 基、古墳時代の竪穴住居跡 1 軒などが見つかりました。斜面下部につくられた古墳時代の竪穴住居跡の存在は当時の土地利用を考える上で重要な成果となっています。

(5) 地点は、令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月に 2,064㎡を対象に調査が行われ、縄文時代の竪穴住居跡 29 軒・土坑 703 基、古墳時代の竪穴住居跡 28 軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡 5 軒や馬を埋葬した土坑などが非常に密集した状態で検出されました。本遺跡の中では中心的な区域となっています。



今回の見学会では、発掘調査中の木戸台遺跡(6)を中心に、過去の成果を合わせてご覧いただきました。遺跡は縄文時代中期と古墳時代後期に多くの人々が集い、集落を営んでいたことが分かりました。木戸台遺跡の全貌は、これから整理作業を経てより一層明らかになっていきます。発掘調査報告書が刊行された際は、図書館などでお手にとっていただければ幸いです。私たち公益財団法人千葉県教育振興財団は、今後も遺跡見学会や遺物の展示会をはじめ、様々な方法で埋蔵文化財の魅力について伝えていきます。今後もぜひご注目ください！

## 横芝光町

# 木戸台遺跡

～九十九里地域に営まれた縄文時代と古代の集落～





